

【事例5】

突然、大声で
叫んだり、暴
れたりするの
ですが...



＜対応例1＞

できるだけ穏やかに「どうしたの？」などと優しく声をかける。

＜対応例2＞

妄想や幻覚などが原因であれば、「それは怖かったね」など本人の言葉を否定せず、受け入れる。

＜対応例3＞

興奮が収まらない場合や、暴力を振るう場合は、いったん距離を取り、危険な行動をしないか見守り、落ちついた後に理由を聞き取る。

＜対応例4＞

叫ぶ症状や妄想・幻覚がひどくなるようなら、医師や看護師に相談する。

本人の
気持ち

- ・伝えたいことがうまく伝えられないもどかしさ、いらだち
- ・簡単な動作やできていたことができないいらだち
- ・(妄想・幻覚などによる)恐怖心
- ・感情のコントロールがうまくできない

望ましくない対応例

- ・大きな声で叱りつける
- ・強い口調で話しかける
- ・力づくで押さえつける
- ・慌てる

⇒さらに不安や恐怖が強くなり、悪循環になる



* 普段からできること...

周りの状況で不快なことがあると叫んでしまうことがあるため、ストレスを抱えていないか、普段からよく話を聞いてガス抜きをしてあげることが大切。

体調不良が原因のこともあるため、平時の状態をきちんと把握しておく(便秘、かゆみ、喉の渇きなど)。